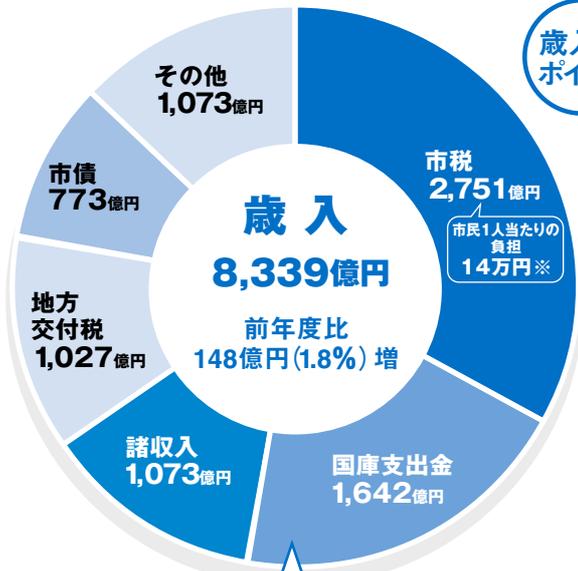


決算の状況

一般会計

福祉や教育など、市の基本的な事業の会計です。

手数料などの歳入が予算額を下回ったものの、歳出をできる限り節約したことから、歳入から歳出を引いた収支は、97億円の黒字となりました。



歳入のポイント

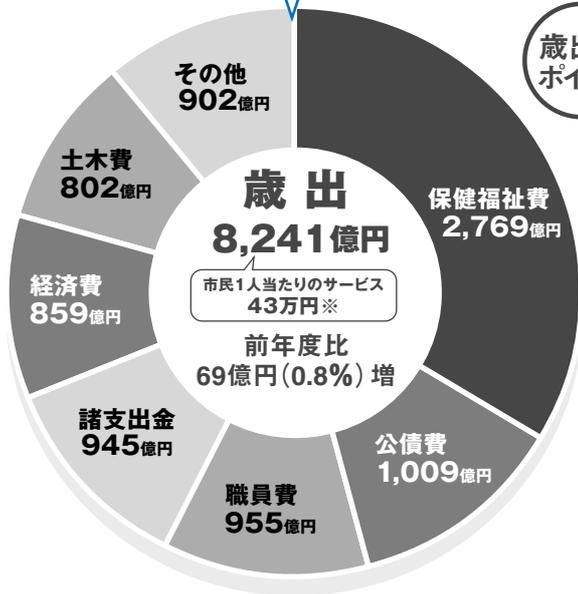
市債 本来国から地方に交付されるべき現金の不足分を補うために発行する、臨時財政対策債の増により、市債発行額が前年度と比べて232億円(43.0%)増加しました。

地方交付税 社会保障関係費などの増により、前年度と比べて10億円(1.0%)増加しました。

【用語の説明】

- ・市 税 市民税や固定資産税など
- ・国庫支出金 国が必要と認めた事業に対して国から配分されるお金など
- ・諸 収 入 貸したお金の返済金や宝くじの収益金など
- ・地方交付税 一定のサービス水準を確保するため、人口や税収などに応じて国から配分されるお金
- ・市 債 市の借金
- ・そ の 他 国や道が市の代わりに集めた税金やごみの手数料など

歳入から歳出を引いた97億円のうち、84億円を23年度に繰り越し、13億円を貯金しました



歳出のポイント

保健福祉費 子ども手当費などの増により、前年度と比べて368億円(15.3%)増加しました。

土木費 札幌駅前通地下歩行空間の整備費などの増により、前年度と比べて41億円(5.4%)増加しました。

【用語の説明】

- ・保健福祉費 医療や福祉などに掛かったお金
- ・公 債 費 市債の返済金
- ・職 員 費 市職員の給与や退職金
- ・諸 支 出 金 特別会計や企業会計の運営を補助するお金など
- ・経 済 費 産業を育て、経済を活性化させるためのお金
- ・土 木 費 除雪や道路整備などの費用
- ・そ の 他 教育やごみ処理に掛かったお金

※23年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

特別会計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

9つある特別会計には赤字の会計はありませんでした。

会 計	土地区画整理	駐車場	母子寡婦福祉資金貸付	国民健康保険	老人医療	後期高齢者医療	介護保険	基金	公債
歳 入	27億円	3.5億円	2.7億円	1,848億円	3.3億円	191億円	990億円	11.2億円	3,902億円
歳 出	27億円	3.4億円	1.6億円	1,848億円	2.5億円	186億円	986億円	10.7億円	3,902億円
差し引き	0円	0.1億円	1.1億円	0円	0.8億円	5億円	4億円	0.5億円	0円

札幌市の財政状況を公表

市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。今回は、22年度の決算の概要や、現在の財政状況についてお伝えします。

このページに関するお問い合わせは総務資金課(21)2216

※ページ内の金額や数値は、各項目ごとに四捨五入しているため、差し引きが一致しない部分があります

企業会計

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です。

市立札幌病院、地下鉄、水道、下水道では収益的収支が黒字になりましたが、中央卸売市場と路面電車では赤字になりました。



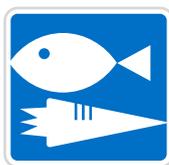
市立札幌病院

主な実施内容
血管造影X線診断装置やナースコール設備の更新

◎収益的収支の状況



◎資金の状況 50億円の資金残



中央卸売市場

主な実施内容
水産棟に荷物を搬入する出入口のシャッターなどを新設

◎収益的収支の状況



◎資金の状況 14億円の資金残



路面電車

主な実施内容
車両の改修や架線修理車の更新

◎収益的収支の状況



◎資金の状況 5億円の資金残



地下鉄

主な実施内容
南北線5000形車両の更新やワンマン化改良

◎収益的収支の状況



◎資金の状況 8億円の資金不足



水道

主な実施内容
施設の耐震化、浄水場などの保安強化

◎収益的収支の状況



◎資金の状況 63億円の資金残 ※

※水道施設更新積立金20億円を含む



下水道

主な実施内容
西部スラッジセンターの設備増設、老朽化した施設の改築

◎収益的収支の状況



◎資金の状況 60億円の資金残

[用語の説明]

・収益的収支 企業の経営成績を示す収支
・資金 年度末に残っている現金などのこと

資産

基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う市の貯金など

●現在高2,609億円
財政調整基金112億円など22基金

財産

- 公有財産土地/5,369万㎡
建物/延べ面積562万㎡ 有価証券/16億円
出資による権利/160億円
- 物品(100万円以上のもの) 3,849点(台)
- 債権(民間への貸付金など) 54億円

札幌の財政状況を詳しく見てみよう!

札幌の財政は健全?

自治体の財政状況が良好かどうかを示す指標として健全化判断比率があります。札幌市は前年度に引き続き、財政再建に取り組まなければならない水準を大幅に下回っています。

健全化判断比率

平成22年度決算

財政再建が必要かどうかの基準

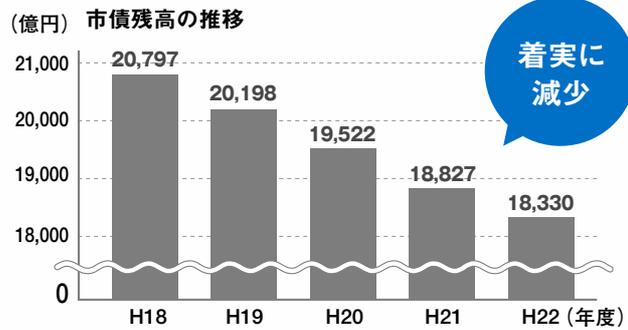
指標	内容	札幌市	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%	35%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	10.6%	25%	35%
将来負担比率	将来負担を見込まれる負債の割合	115.1%	400%	

良好な比率を維持

次のページへ

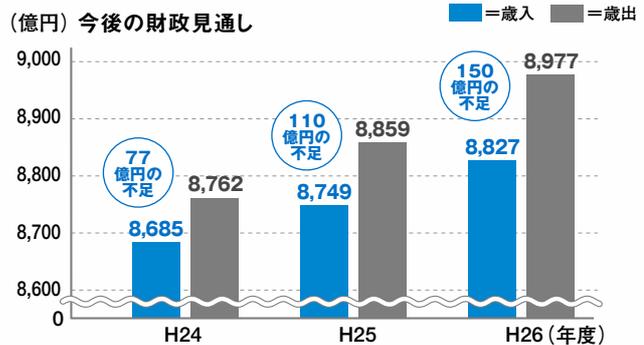
市債の残高は どうなっている？

市債とは市の借金のことです。一般・特別・企業会計の市債残高の合計は、前年度と比べて496億円(2.6%)減少し、7年連続で減少しています。



では、今後の見通しは？

今後は、高齢者人口の増加などにより、収入は伸びない一方で、保健福祉費などどうしても掛かるお金が増えていくため、厳しい状況が続きます。



お金が足りない状況が続くため、安心はできません

そのため

お金の使い方、集め方の見直しを進めていきます

● 市役所内部の努力

事務を効率化するほか、人件費の見直しを進めます

● サービスの見直し

コストや利用者の負担に見合ったサービスの提供を目指します

● 事業の重点化

高齢社会や人口減を見据えて、必要性や緊急性の高い事業に重点的に予算を配分します

● 財産の有効活用

使う見込みがなくなった土地の売却を進めます

市はこれからも工夫を重ね、健全な財政運営を続けていきます

平成23年度の予算の執行状況

今年4月から9月の主なお金の動きです。
※平成23年9月末現在

〈一般会計〉

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
8,807億円	41.2%	37.7%

〈企業会計〉 収益的収支の状況

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	232億円	49.9%	236億円	48.1%
中央卸売市場	20億円	45.7%	24億円	24.8%
路面電車	13億円	43.2%	14億円	31.9%
地下鉄	460億円	49.0%	426億円	27.0%
水道	428億円	49.8%	388億円	35.7%
下水道	413億円	48.9%	414億円	23.3%

〈特別会計〉

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,948億円	33.4%	41.8%
後期高齢者医療	197億円	36.2%	35.1%
介護保険	1,041億円	39.0%	41.2%
その他	51億円	22.6%	14.2%

■市債残高

区分	市債残高
一般会計	9,557億円
特別会計	46億円
企業会計	8,365億円
合計	1兆7,968億円

■一時借入金
企業会計(地下鉄)
20億円
■基金 2,596億円

市の財政の詳細はホームページでもご覧になれます

www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo